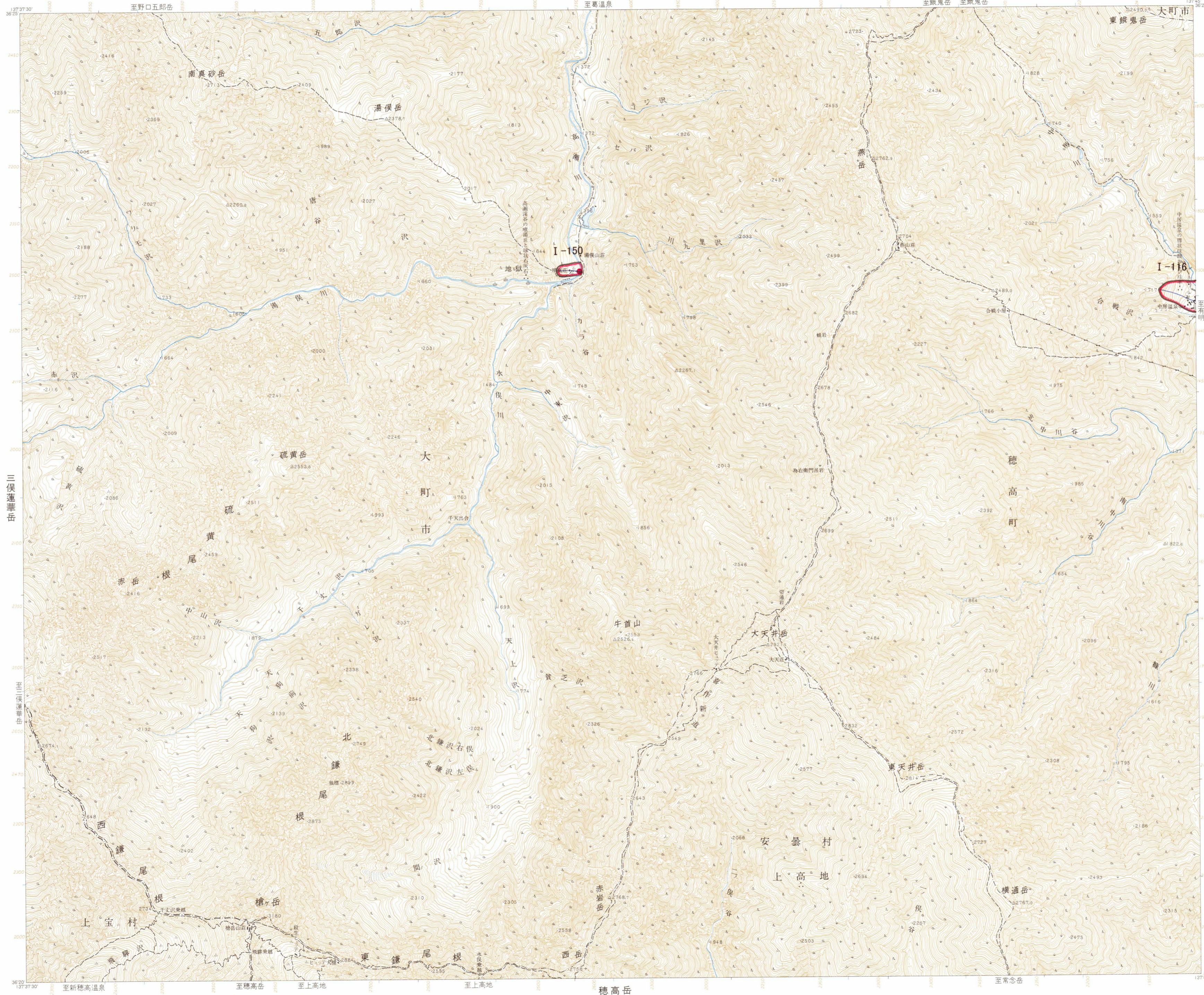


# 槍ヶ岳

この地図は国土地理院長の承認を得て、国院発行の2万5千分1地形図及び2万5千分1旧版地図を複製したものである。(承認番号 平16関複、第525号)



**凡例**

- 雪崩危険箇所 (I)**  
I-〇〇: 箇所の種類と番号  
主たる雪崩経路  
基準点
- 雪崩危険箇所 (II)**  
II-〇〇: 箇所の種類と番号  
主たる雪崩経路  
基準点
- 過去の雪崩発生経路
- 地域防災計画に位置づけられる避難場所、避難経路等

**有明**

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°  
2. 右上の数字は地域メッシュコード  
3. 図郭に付した短線は黒が経緯度差1分ごとの目盛、青(経緯度目盛と重複する場合は黒)が基準地域メッシュの目盛  
4. 高さの基準は東京湾の平均海面、等高線の間隔は10メートル  
5. 磁針方位は西偏約7'10"  
6. 図式は昭和61年1:25,000地形図図式

**行政区画**

**索引図**

薬師岳	烏帽子岳	大町南部
三俣連華岳	有明	
笠ヶ岳	穂高岳	信濃小屋

**長野県**  
A. 大町市  
B. 南安曇郡 1. 穂高町 2. 安曇村

**岐阜県**  
C. 吉城郡 上宝村

昭和49年測量  
平成4年修正測量  
1. 使用した空中写真は平成2年10月撮影  
2. 現地調査は平成4年9月実施

63